

学校トイレの洋式化をさらに早く!!

～トイレ快適化計画の見直し～



平成26年6月2日

トイレ快適化計画の趣旨

トイレの現状・・・

- ▶ 市内の学校のトイレは、そのほとんどで和式便器を設置
- ▶ 家庭では洋式便器が普及し、和式便器が苦手な子どもが増加

洋式便器が少ないため、学校でトイレを我慢する子どもがみられる

子どもたちの健康面にも配慮した快適なトイレ環境の整備が必要

学校トイレの洋式化

これまでの取り組み

平成24年8月

トイレ快適化計画策定

（小学校：洋式化率20％未満、中学校：洋式化率10％未満を優先的に改修）

平成24年度

小学校6校、中学校2校のトイレ改修に係る実施設計業務

平成25年度

小学校6校、中学校2校のトイレ改修工事

（大規模改造、再編に伴う改修、排水不良による改修工事を含む）

小学校6校、中学校2校のトイレ改修に係る実施設計業務

平成26年度

小学校6校、中学校2校のトイレ改修工事

（大規模改造工事を含む）

事業費 平成24年度～平成26年度 **約11億円**

※平成24年度決算、平成25年度決算見込み、
平成26年度当初予算額

平成25・26年度の改修状況

平成25年度 改修校

- ▶ 小学校 6校（栗真、敬和、一身田、片田、神戸、高岡）
- ▶ 中学校 2校（西橋内、久居東）

トイレ環境が改善された
結果(児童等の声)

トイレを我慢することがなくなった、トイレが明るくなってイメージが変わった、
家と同じで使いやすい、きれいに保てるよう掃除を頑張りたい 等

平成26年度 改修予定校

- ▶ 小学校 6校（南立誠、育生、櫛形、高茶屋、川口、白塚）
- ▶ 中学校 2校（久居西、一身田）

平成26年度までの改修後の状況(予定)

便器数

和式便器: 648組 ⇒ 75組
洋式便器: 47組 ⇒ 487組

+

多目的トイレ(体育館含む)
20カ所設置

学校トイレの利用状況に応じた計画の見直し

洋式便器の設置割合が10%未満の学校を、平成27年度にすべて解消し、その後、次のステップへ進もうとしたところ・・・

児童生徒数の多い学校では、そもそもトイレの設置数の少なさから、利用できない問題が発生！

次のステップに移る前に解決するには

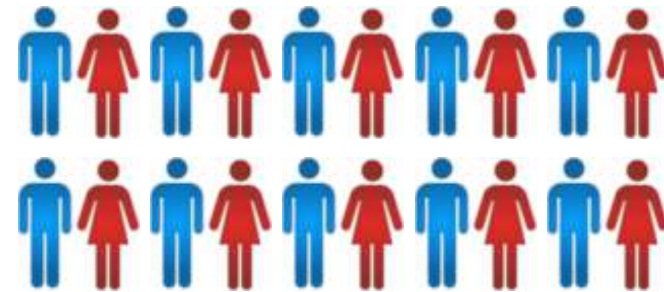
利用する児童生徒の人数を考慮した整備が早期にできるよう
トイレ快適化計画の一部を見直すことが必要

トイレ快適化計画の改訂

津市教育委員会は、平成26年6月2日付けで
トイレ快適化計画を改訂

見直しポイント①

実情に合った改修となるよう、
児童生徒数**20人当たり1組**
の洋式便器を確保！



児童生徒20人

=



洋式便器
1組

見直しポイント②

トイレの洋式化と同時に臭いの
発生や菌の繁殖を低減させる
床面ドライ化を実施！



床面ドライ化（前）



床面ドライ化（後）

改修計画及び事業費

総事業費

約4億円

財源内訳

学校施設環境改善交付金
合併特例債
一般財源

6,000万円
1億3,000万円
2億1,000万円

改修年度

平成27年度～平成29年度

改修校数

26校（小学校 18校、中学校 8校）
※一部は大規模改造工事と同時施工

改修便器数

254組（和式便器から洋式便器へ改修）

平成27年度
改修校
（平成26年度設計）

小学校 3校（戸木：17組、豊が丘：15組、栗葉：18組）
中学校 1校（東橋内：4組）